



**救命の
はじめの一步は
あなたから**

あなたを家族が守る。家族を地域が守る。
地域をあなたが守る。
大切な命を守るために、救命のできる人が
いるまちづくりをしましょう。



あなたも 応急手当普及員

になってみませんか？

どうすれば応急手当普及員になれるの？

応急手当普及員の資格を取得するためには、消防本部が開催する「応急手当普及員講習」の受講（受講料無料で期間は3日間）が必要です。

資格を取得すると、所属する会社などで「普通救命講習（3時間）」を開催することができ、心肺蘇生法、AEDの取扱い、止血法、異物除去などの応急手当に関する指導が行えます。

※講習の受け付けは随時行っています。受講希望者は市消防本部までお問い合わせください

実際にどんなことをするの？

皆さんの職場や地域、サークル等で講習会を開催することで、応急手当の重要性や方法を広めていただきます。講習に必要な物品（訓練人形、AEDトレーナー、普及啓発用DVD他）は消防本部が無償でお貸しします。

また、普及員が開催した講習会を受講された方へは、消防本部が修了証を発行します。

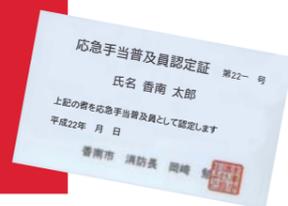
9月9日は救急の日

救急車は要請を受けて現場に到着するまでに、平均約7分かかります。この間にあなたが行う応急手当が救命のリレーのスタートです。

問い合わせ
市消防本部
☎55-4141

あなたが始めた応急手当が救急隊、医療機関へとつながるとき、救命の可能性は高くなります。

助かるはずの命を救うためには、救急車が到着するまでに応急手当を実施することが必要です。消防本部では応急手当の講習を行っています。私たち職員とともに応急手当に関する知識を広めていただける方「応急手当普及員」を募集しています。



突然のその症状、 脳卒中 ではありませんか？

昨年、脳卒中と疑いのある人を救急搬送した件数は約120件でした。早期発見、早期治療により後遺症がでない可能性が高くなります。次のような症状が表れたときは、適切な医療機関にかかってください。

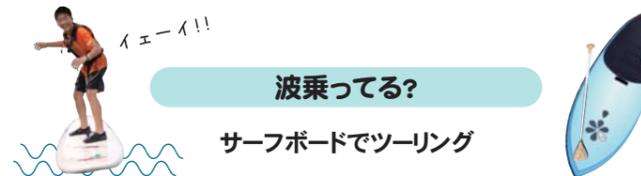
- ◆片方の手がしびれる
- ◆手に力が入らずペンやお箸を落とす・字がうまく書けなくなる
- ◆めまいがしてまっすぐ歩けない・立ち上がれない
- ◆ろれつが回らない・言葉が出てこない・言った言葉が理解できない
- ◆目の片側が急に見えにくくなる（視野が狭くなる）・物が2重に見える



救急車は タクシーではありません

昨年の救急車の出動回数は1,500件。一日平均5件出動しています。消防署にある救急車は2台。不必要な利用が増えれば、本来必要な出動に時間がかかるなど「助かる命」を救えなくなります。緊急性がない場合や自分で病院に行けないからとタクシー代わりに救急車を呼ばないようにしてください。

※救急車の出動時はサイレンを鳴らすことが法律で義務付けられています。皆様のご理解とご協力をお願いします。



サーフボードでツーリング

8月14日(土)、夜須町の手結海岸で楽しくサーフボードに親しんでもらおうと教室が開催され、親子連れなど約14人が参加しました。

講師は市内在住サーファーの加藤博之さん。ボードを使ったいろんな進み方を教えてくれました。基本の姿勢では、うつ伏せの状態から直立まで。漕ぎ方は、手やパドルの使い方を教わりました。最後は、思い思いのスタイルでミニツーリングに。小5の男の子は「ボードから落ちたりして楽しかった」と大喜び。海遊びの可能性が広がった一日でした。



子どもたちに伝えたい

震洋隊慰霊祭

終戦の翌日、夜須町住吉海岸で起こった爆発事故により犠牲となった旧海軍特攻隊「震洋隊」の隊員111人をしのぶ慰霊祭が、8月16日(月)住吉海岸で行われました。震洋隊奉賛会(中村昌直会長)が主催で、65回目となる今年も遺族や戦友など約70人が参列し、軍艦旗を掲揚した後、慰霊碑に合掌しました。北海道から来た遺族は「兄の供養のためにもここであったことを伝えたい」と思い、東京に住んでいる子どもや孫と初めて一緒に参列しました。兄も喜んでいるはず」と感慨深げでした。



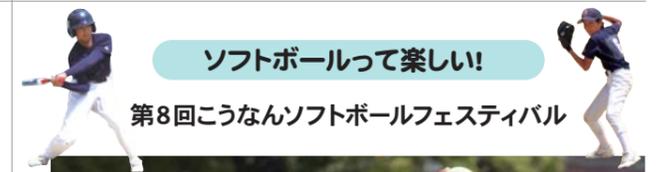
音楽は友だち

高知交響楽団のファミリーコンサート



7月31日(土)、野市小学校で高知交響楽団による「0歳からのわくわくファミリーコンサート」が行われ、赤ちゃん連れの親子など約150人が楽しみました。

コンサートでは、楽器の説明や指揮者を体験するコーナーもあり、会場一杯に響く音楽に手拍子をしたり大きな声で歌ったり、子どもたちはオーケストラの演奏を満喫していました。4歳の男の子と参加したお母さんは、「小さい子どもを連れて行けるコンサートが少ないので、こんなに近くでオーケストラが聴けてうれしい」と感激していました。



ソフトボールって楽しい!

第8回こうなんソフトボールフェスティバル



8月1日(日)香我美運動広場で第8回こうなんソフトボールフェスティバルが行われました。香我美地区青少年健全育成会議の主催で、ソフトボールの普及と交流を深めようと小学生から大人まで9チーム約200人が集いました。

選手たちは、灼熱の太陽にも負けないハツラツとしたプレーを続出。またソフトボール教室では、県成年女子国体チームによる小中学生を対象とした「投げる・捕る」といった基本動作の指導を行いました。子どもたちはアドバイスに耳を傾け、一生懸命習得しようと真剣になっていました。